

視聴覚教育

教材費による

16ミリ映画 20本購入

近く巡回を開始

今年度から教材費によっても、16ミリフィルムが購入されることになった。フィルム選定委員会に基づき、このほど20本のフィルムが入荷された。近く各校の備品登録事務が終了するので、ブロッツ毎に二く三本ずつ巡回映画を行う予定である。巡回の終了後は、ライブラリーに一括保管し、一般貸出しに入る。新しく購入したフィルムは、次の通りである。

題名	教材領域・対象	時間(分)
日本の心をもとめてー俳句の世界ー	国語 中学	25
自動車工場のみち	社会 小高	21
農業とかんがい用水	社会 小高	21

NO 59
発行日 5月 8日
発行所 岡崎市AVL編集
編 集 委員会
広報委員会

・藩校と寺小屋	社会	小高	22
・日本の伝統工業ーやきものの町ー	社会	小高	20
・ぼくのうちーしよくじのしたくー	社会	小低	20
・土の中の小さな生きものたち			
ー物質循環のしくみー	理科	中学	21
・蜜蜂の行動をさぐる			
ーフリッツニコの実験よりー	理科	中学	29
・動物の反応	理科	中学	20
・くも	理科	小中	16
・ピューターと狼	音楽	小高	14
・えんぴつ立てー紙でつくるー	図工	小中高	20
・楽しい鉄ぼう運動	体育	小中高	10
・人工呼吸と心臓マッサージ	特活	中学	16
・やさしい家庭電気教室	特活	中学	20
・父の看病	特活	小中高	25
・自転車の交通法規	特活	小中高	24
・インダイシまごろう	特活	小中	38
・中学生日記ー歩きつづけてー	特活	中学	30
・学級会を明るく	特活	小中高	21

自作スライドを効果的に活用した

「できる」天体学習の実践

本校では、52年度より「できる」学習指導の研究実践にとり組んでいる。「できる」学習とは、教えられたり、学んだりする活動を通して、自分が納得したものとして知ったり、わかったりすることを基礎にする創造的な学習をさす。

視聴覚部においては、一年理科第二分野の「宇宙の広がり」の単元をとらえて、「できる」天体学習の研究実践を行った。この「できる」天体学習を実現するためには、生徒自身が自分の目で実際に天体を観察できることが必須条件だと考えた。

そこで、九月から、肉眼でも観察可能なアンドロメダ大星雲(M31)の観察にとり組ませた。

最初は、プリントでM31の位置などを知らせたが、それを実際に見つけることができた生徒は、ひとりもいなかった。



このような失敗の原因は、秋の星座やM31の形がよくわからなかったためと考え、それを自作スライドで知らせることにした。その結果、約1/2の生徒がM31を観察することができ、「できる」

天体学習の実現に一歩近づいた。(矢作中 明保俊通)

県自作TP作品の結果

特選4、入選12、佳作13と大量入賞

先に行った岡崎市自作TP作品募集の結果、入選した四十五作品を県教育サービスセンターの方へ応募したところ、二十九名が入賞した。なお、総応募数は二四〇点であった。

特選 山本繁子他一名(愛宕小) 稲垣幸一(豊美丘小)

荻野スズ他三名(三島小) 酒井久男(岩津中)

入選 渡辺総憲(甲山中)ほか十一名

文部大臣賞受賞祝賀会

一月十九日(日)ニ、三〇〇、岡崎商工会議所にて実施

雑誌「視聴覚教育」にライブラリーの紹介

十二月号にライブラリーの活動が、グラフィアページ、本文(論文)六ページにわたって紹介されている。ぜひ一読を。

県自作視聴覚教材コンクール作品募集

締切 一月十日(水) 必着

提出先 岡崎市視聴覚ライブラリー

詳細については教育公報一三二六号参照のこと。